

題材名 リモコンロボット （伝える・相手のことを考える）		
相手の視点に立つことが苦手だったり、 言語表現が苦手だったりする子どもがいる。 このゲームは、よりよい対人関係が築けるように相手のことを考えながら、分かりやすく言葉で伝えることを学ぶ活動である。		
ね ら い	対 象	
・相手の立場になって考えることができる。 ・相手に分かりやすく伝えることができる。	小学生（低学年・中学年・高学年）・中学生	
準備するもの	所要時間	人数・その他
・リモコンの模型（「右・左・前・後」明記） ・アイマスク ・ゴール地点の印 ・ふりかえりシート	20分	2名以上 ・広い場であれば、人数が多 くても可能
内 容	活動の詳細と指導のポイント	
①めあて・ルールの確認をする。 ②ロボット役と操縦士を決める。 ③ロボット役は目かくしをし、 操縦士はリモコンを持つ。 ④言葉で誘導しゴールをめざす。 ⑤結果発表をする。 ⑥振り返りをする。 ⑦役割を交代して行う。 	【ルールの説明】 ・アイマスクは途中では外してはいけないこと、指示は言葉のみとし、身体に触れてはいけないこと、ロボット役は、指示のみで動くことができる等、できるだけ具体的に確認する。 （確認事項は見えるところに掲示） ・必要に応じて「操縦士」という言葉の意味を確認する。 【モデリング】 ・具体的な指示の出し方を示す。 （例）「前へ5歩」「右へ2歩」等 ・指示がわからない時には「もう一度言って下さい」と聞き返す。 ・「伝え方のスキル」をシートにして教示する。（掲示） ① 大きな声ではっきりと話す ② 分かりやすく話す ③ 相手のことを考えて話す  ・お互いが同じ方向を向かないと、指示が食い違ってしまうことを確認する。 （例）「相手にとっての右は？」 【実 施】 ・目隠しをして進むことへの不安感に気づかせ、指示の工夫を促す （例）「大丈夫だよ！ゆっくりと前に2歩すすんで」（励まし） 「右に1歩」「次に前に2歩」・・・（区切る） ・結果発表では、チームワークの良さも評価する。 【振り返り】 ・自分の気持ちを振り返り、相手のことを考えることの大切さに気づくようにする。（「ふりかえりシート」で自己評価） ・どんな言葉かけが、わかりやすかったか、うれしかったか等、お互いに確認する。	
	通常の学級で取り組むためのポイント	
・日常生活の中で相手の気持ちをその都度考えられるようにして、継続して支援していく。		
・場面や状況認知・感情理解のために、絵カードやロールプレイで繰り返し指導していく。		
・学級全体での指導では、お互いを受け入れられるようになってきた段階で実施するとよい。		
・お互いの信頼感を、より深めていきたい時に取り入れると効果的である。		

題材名 変身ゲーム (相手に注目する)		
授業中や集団生活において、「きちんと見る」ことは、基本的な生活習慣として大切なことの一つである。さまざまな状況で、他者に対して注意が向けられなかったり、気が散りやすかったりする子どもがみられる。「相手を見る」「注目する」等ができるようになることは大切なことである。 このゲームは、変身前と変身後の違いを見つける活動を通じて、他者に注目や意識を、向ける力の向上を目指した活動である。		
ね ら い	対 象	
・相手に注目できる。 ・変化に気づくことができる。	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年)	
準備するもの	所要時間	人数・その他
・ぼうし、メガネ、かつら、手袋等小物多数 (どんな物を使ってもよい) ・解答用紙	20分	3名～6名位 ・変身する人を複数にして、グループ対抗で実施しても楽しい
内 容	活動の詳細と指導のポイント	
①順番を決める。 ②変身する人は30秒間解答者の前に立つ。 ③変身タイム。 (1分間で3カ所変える) ④再び解答者の前に登場する。 ⑤解答者は変わった所を用紙に記入する。(2分間) ⑥結果発表をする。 ⑦交代してゲームを繰り返す。	【ルール説明】 ・どんな格好をしてもよいが、変身できるのは3カ所であること、変身タイムは1分間であることを確認する。 ・記憶の曖昧な子どもは、解答用紙に絵や文字でメモをしてもよい。 ・変身前の状況に注意が向けられない時には、言葉をかける。 【モデリング】 ・変身タイム内に、変身できない時には「もう少し時間を下さい」と言えば時間の延長ができることを伝える。(ただし一回のみとする) ・変身は小物を使っても、ポーズを変えてもOKとする。 ・変身を見つけるポイントを示す。(注目する場所を具体的に伝える) 【実 施】 ・変化に気づいたら言葉に出さず、黙って解答用紙に答えを記入する。 ・注意がそれている時には「どんな物を使っていたかな?」「どっちを向いていた?」と変身前の様子を想起させるような言葉をかける。 ・変身タイム内に変身できた時には、評価の言葉をかける。 ・結果発表では、変化を見つけることができたことだけでなく、「注意を向けて見ていた」ことについても評価をする。 ・自分から注意が向けられている子どもを積極的にほめる。 【振り返り】 ・ルールが守れていたか、自分や友だちがうまくできたところはどこか。 ・注意を向けることは、情報を得るために大切であることを確認する。	
		
通常の学級で取り組むためのポイント		
・「注目をする」ことは学習中に必要なスキルである。そのためには「いつ」「どこに」注意を向ければよいのか具体的に子どもに示すことが大切である。言葉かけだけでなく視覚的なグッズも利用することで、注目できる力が高まる。(例)黒板に「ここに注目するという意味」の「指の絵」を貼る等。		

題材名 こうそうビルゲーム （話し合い・協力・気持ちのコントロール）		
学校生活において、友だちと協力して活動しなければならない場面は多くある。そんな時、自分の意見を伝えたり、友だちの意見を受け入れたりすることが重要である。しかし、相手の思いを受け入れることがなかなかできなかったり、勝つことに対して、強くこだわったりする子どもがみられる。 このゲームは友だちと話し合ったり、協力したり、負けることを受け入れたりするスキルを学ぶための活動である。 ＊「こうそう」には「高層」（高く積む）と「構想」（どうすればよいのか考える）の意味		
ね ら い	対 象	
・自分の意見を言ったり、相手の意見を受け入れたりしながら話し合いができる。 ・ゲームの「負け」を受け入れることができる。	小学生（ 中学年 ・ 高学年 ）	
準備するもの	所要時間	人数・その他
・様々な形状の箱、缶、ペットボトル、箱積木等多数 ・机、椅子（高い所に積むときに使用する） ・さいころ （チームに１個）	２０分	４名～８名 ・トーナメント戦やゲームごとにペアを変えて行ってもよい
内 容	活動の詳細と指導のポイント	
①チームを決める。(２人１組) ②作戦タイム。(１分３０秒) ③１回戦終了。(５分) ④結果発表。 ⑤作戦タイム。(１分３０秒) ⑥２回戦及び結果発表。 (場合によっては３回戦) ⑦総合結果発表。 ＊先に２勝したチームの勝ち	【ルール説明】 ・スタート地点に置かれた箱や缶等を、さいころの目の数だけ積み上げる。友だちと相談しながら相手チームより高く積めたチームが勝ち。 ・準備や片付けは具体的に指示をする。 (例)「音を立てずに」等 ・箱を積めるのは一人とし、もう一人はアドバイス役(どこに何を積むのか言葉で伝える役)をする。 ・途中で崩れた時には、そこから続ける。崩れた箱等は元の位置に戻す。 【モデリング】 ・アドバイスの時には、具体的な言葉をかけるようにする。 (例)「土台となるように大きい箱を最初に積んで！」等 ・崩してしまった時に「ごめん」と言ったり、その相手に「ドンマイ」と励ましたりするとよいことを知らせる。 ・作戦会議で話し合う内容を知らせる。(例：どうすれば高く積めるのか) 【実 施】 ・作戦会議では子ども同士の話し合いを尊重するが、具体的な意見が出ない時には教師が仲介役をする。 ・結果発表では、どちらが高いのか指をさす。(負けを素直に認める) ・ゲーム中のやりとりで、よい所が合ったらすぐにほめる。 【振り返り】・友だちや自分のうまくできた所を発表する。 ・相手のよい所を見つけられた時には、称賛する。	
		
通常の学級で取り組むためのポイント		
・自分の意見を伝えること、相手の意見を受け入れること、そして妥協点を導き出すことが、子ども達には大切である。友だちとの折り合いをつけ、様々な活動に参加できることを目指したい。話し合いには、自分を表現し、相手を理解するという要素がふんだんに盛り込まれている。教師は、子供たちの間に立ちながら具体的な話し合いスキル(主張する、譲り合う、共感する等)を提案し、実践させていく必要がある。		

研究協力員

平成19年度 調査研究講師及び研究協力員一覧 敬称略

講 師 千葉大学 准教授 北島 善夫

研究協力校 市川市立中国分小学校 (校長 石黒 茂正)

研究協力員

葛南教育事務所	指導主事	平野 恵子	市川市教育委員会	指導主事	望戸千恵美
市川市立中国分小学校	教諭	菅 芳子	流山市立西深井小学校	教諭	橋詰 修
流山市立流山北小学校	教諭	出山 雅章	船橋市立船橋小学校	教諭	大山 恭子
袖ヶ浦市立長浦小学校	教諭	大野由紀子	いすみ市立大原小学校	教諭	川崎 妙子
旭市立旭中央小学校	教諭	矢澤 裕子			

平成20年度 調査研究講師及び研究協力員一覧 敬称略

講 師 千葉大学 准教授 北島 善夫

研究協力校 市川市立中国分小学校 (校長 石黒 茂正)

研究協力員

葛南教育事務所	指導主事	平野 恵子	市川市教育委員会	指導主事	望戸千恵美
市川市立中国分小学校	教諭	菅 芳子	いすみ市立大原小学校	教諭	川崎 妙子
流山市立西深井小学校	教諭	橋詰 修	船橋市立船橋小学校	教諭	金子 勝一
八千代市立八千代台小学校	教諭	松本 恵子	県立八千代特別支援学校	教諭	早川 淳子
旭市立旭中央小学校	教諭	矢澤 裕子	市川市立大野小学校	教諭	椎名 美幸

船橋市立船橋小学校 教諭 山尾 真希 (カット協力)

引用・参考文献等

- ◆小・中学校における LD (学習障害) ADHD (注意欠陥多動性障害), 高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン (試案) 文部科学省 (2004)
- ◆改訂版 通級による指導の手引き 解説とQ & A, 文部科学省編著, 第一法規 (2007)
- ◆教師のための LD・ADHD 教育支援マニュアル, 独立行政法人国立特殊教育総合研究所 東洋館出版社 (2005)
- ◆LD, ADHD, 高機能自閉症の子どもの指導ガイド, 上野一彦・海津亜希子・服部美佳子 日本文化科学社 (2005)
- ◆個別の指導計画作成ハンドブック LD 等, 学習のつまずきへのハイクオリティーな支援 海津亜希子著 日本文化科学社 (2007)
- ◆障害特性の理解と発達援助・第2版教育・心理・福祉のためのエッセンス, ナカニシヤ出版 (2006)
- ◆千葉県特別支援教育推進基本計画, 千葉県教育委員会 (2007)
- ◆特別支援教育の実践の手引き 千葉県総合教育センター (2006)
- ◆LD・ADHD・高機能自閉症のある特別な教育的支援を必要とする子どものためのQ & A (2004)



LD・ADHD通級指導教室に
おける学習プログラム